

# NSK

## 2015年3月期 決算説明会

日本精工株式会社  
2015年5月14日



本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しております。  
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの  
一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要因により  
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

- 1. 2015年3月期実績**
- 2. 2016年3月期予想**
- 3. 第4次中期経営計画の取組み状況**  
**(補足資料)**

# 1. 2015年3月期実績

## 事業環境

- ✓ 日本回復、米国好調、欧州底打ち、低成長・安定成長状態の新興国
- ✓ 産業機械事業：地域・セクター毎 強弱あるも 緩やかな回復進展
- ✓ 自動車事業：全体として堅調な成長継続
- ✓ 為替円安・原油安

## 決算サマリー

- ✓ 売上高 9,749億円 (前期比+11.8%) / 営業利益 973億円 (同+43.0%)  
経常利益 910億円 (同 +36.3%) / 当期利益 620億円 (同+98.8%)
  - ・ 対前年 増収増益
  - ・ 売上高、各利益は過去最高 営業利益率は二桁を達成。
- ✓ セグメント別業績
  - ・ 産業機械事業：工作機械、風車、鉄道車両好調 対前年比増収増益
  - ・ 自動車事業：中国、北米で拡大し、過去最高の業績
- ✓ 配当 15/3期 年間 28.0円 (前半 12円、後半 16円)

# 2015年3月期 通期業績サマリー

(億円)	14/3期 ＜実績＞	15/3期 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率
売上高	8,717	9,749	+1,031	+11.8%
営業利益 ＜営業利益率＞	680 ＜7.8%＞	973 ＜10.0%＞	+293	+43.0%
経常利益	668	910	+242	+36.3%
税引前利益	543	880	+336	+61.9%
当期純利益	312	620	+308	+98.8%
(換算レート1US\$=)	(¥100.24)	(¥109.93)		
( " 1EURO=)	(¥134.37)	(¥138.77)		

## 【主要指標】

ROE	9.2%	15.3%	
Net D/E レシオ	0.41倍	0.31倍	
棚卸回転数	6.9回転	7.1回転	

# 売上高・営業利益 四半期推移

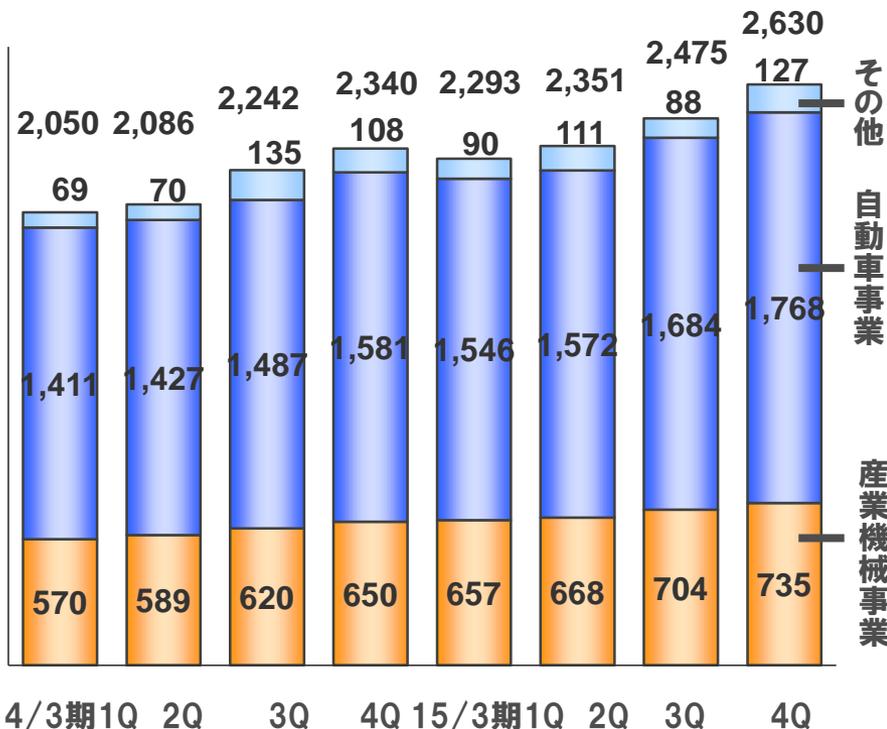
## 売上高

産業機械向けは濃淡あるも着実な回復、自動車軸受/部品とも、四半期で過去最高

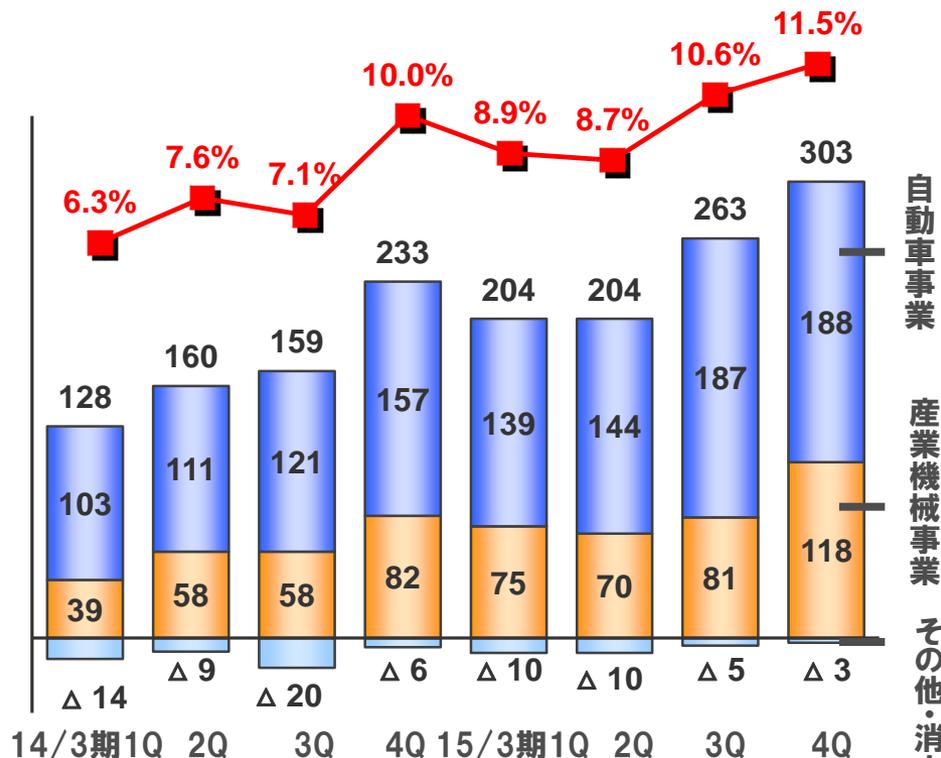
## 営業利益/営業利益率

営業利益は物量の増加、為替円安により、額・率とも 四半期として過去最高更新

(億円)



(億円)



US\$= ¥98.76 ¥98.94 ¥100.47 ¥102.79 ¥102.16 ¥103.92 ¥114.53 ¥119.11

US\$= ¥98.76 ¥98.94 ¥100.47 ¥102.79 ¥102.16 ¥103.92 ¥114.53 ¥119.11

EURO= ¥128.95 ¥131.05 ¥136.69 ¥140.79 ¥140.07 ¥137.77 ¥143.06 ¥134.18

EURO= ¥128.95 ¥131.05 ¥136.69 ¥140.79 ¥140.07 ¥137.77 ¥143.06 ¥134.18

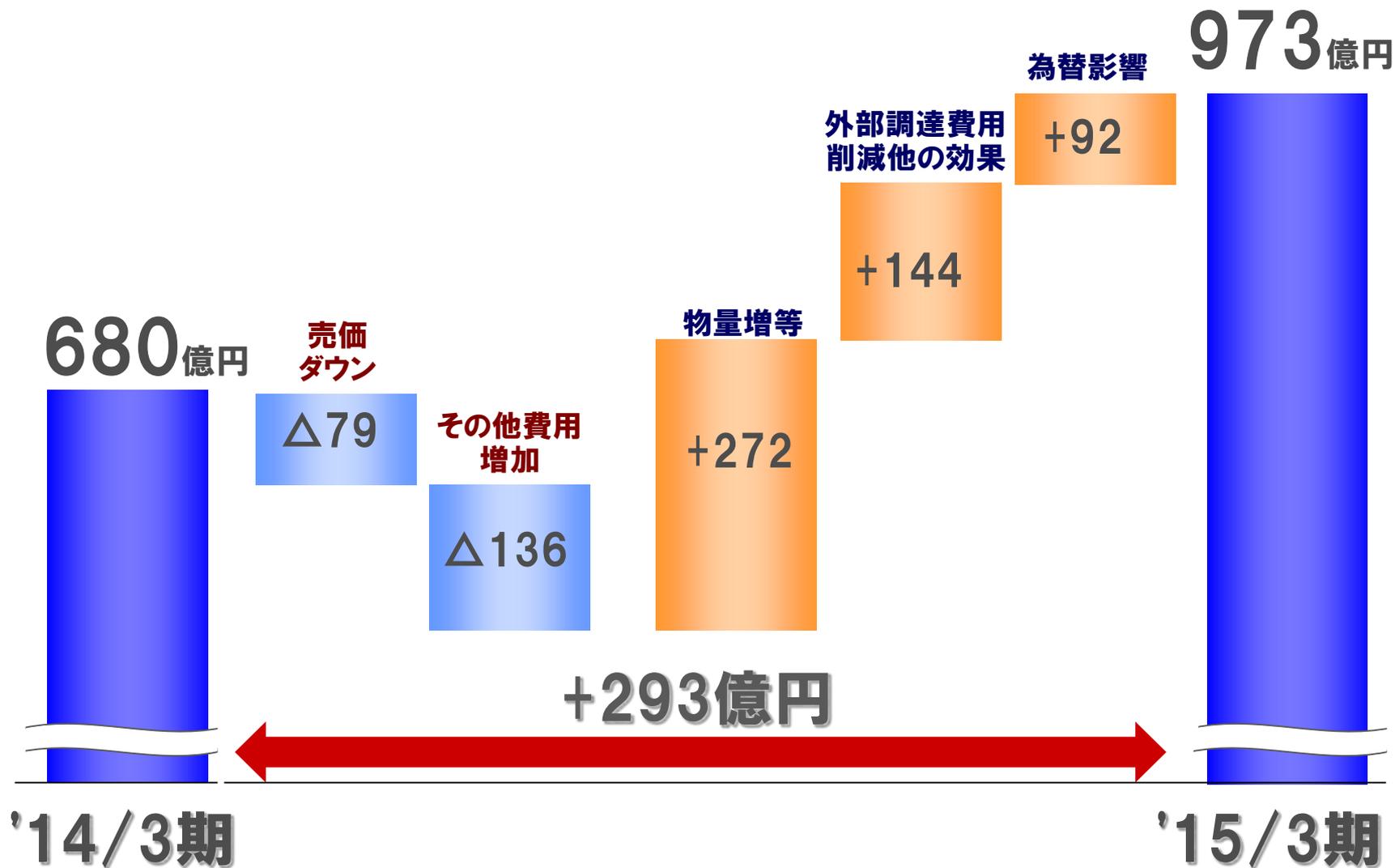
自動車事業  
産業機械事業  
その他・消去

# 売上高・営業利益 [事業セグメント別]

(億円)	14/3期 ＜実績＞	15/3期 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率
売上高	8,717	9,749	+1,031	+11.8%
産業機械事業	2,430	2,764	+334	+13.7%
産業機械軸受	2,057	2,324	+267	+13.0%
精機製品	373	440	+67	+17.9%
自動車事業	5,905	6,570	+665	+11.3%
自動車軸受	2,780	3,064	+283	+10.2%
自動車部品	3,125	3,506	+381	+12.2%
その他	647	729	+82	+12.7%
消去	-265	-314	-49	-
営業利益	680 <7.8%>	973 <10.0%>	+293	+43.0%
産業機械事業	237 <9.8%>	344 <12.4%>	+106	+44.9%
自動車事業	492 <8.3%>	657 <10.0%>	+165	+33.6%
その他	29 <4.5%>	58 <7.9%>	+29	+99.2%
全社費用	-78	-85	-8	-

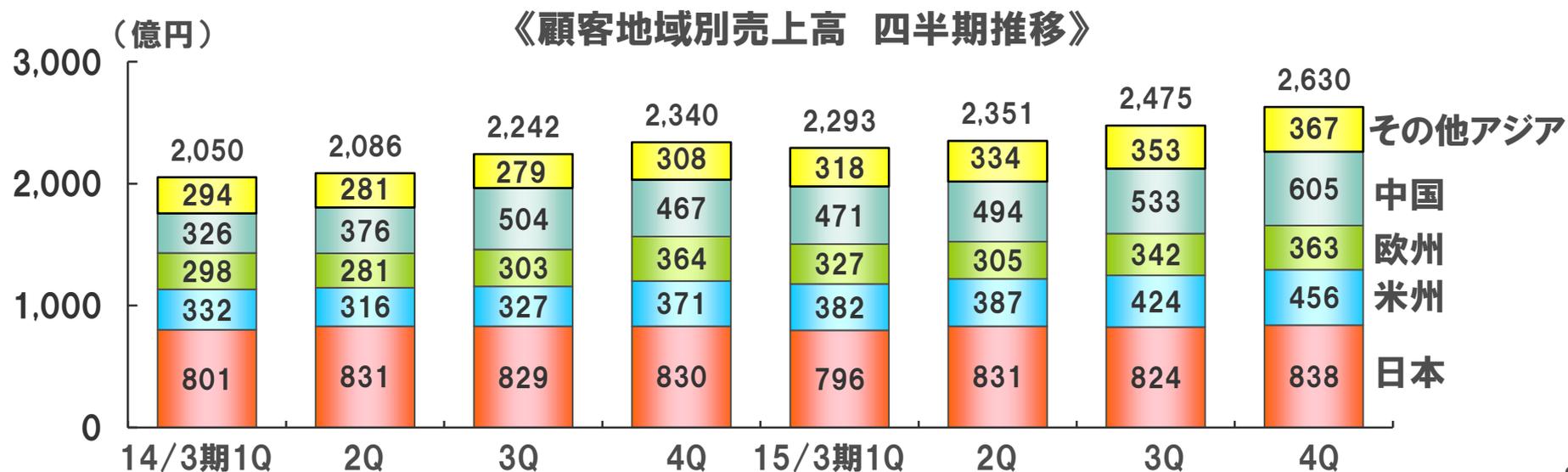
# 営業利益 増減内訳 ('14/3期⇒'15/3期)

(億円)



# 売上高 [顧客地域別]

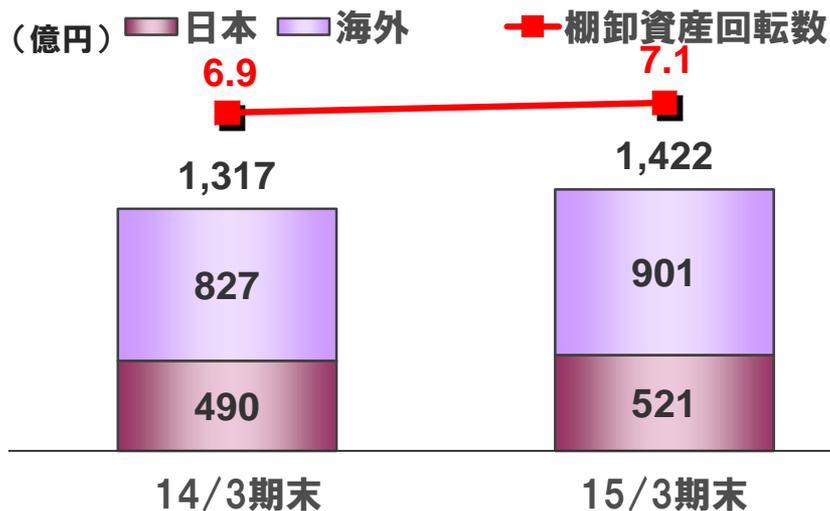
(億円)	14/3期 ＜実績＞	15/3期 ＜実績＞	対前年増減額	対前年伸び率
売上高	8,717	9,749	+1,031	+11.8%
日本	3,291	3,288	-3	-0.1%
海外合計 (海外比率)	5,426 (62.2%)	6,460 (66.3%)	+1,034	+19.1%
米州	1,345	1,648	+303	+22.6%
欧州	1,246	1,338	+92	+7.4%
中国	1,672	2,102	+430	+25.7%
その他アジア	1,163	1,372	+209	+18.0%



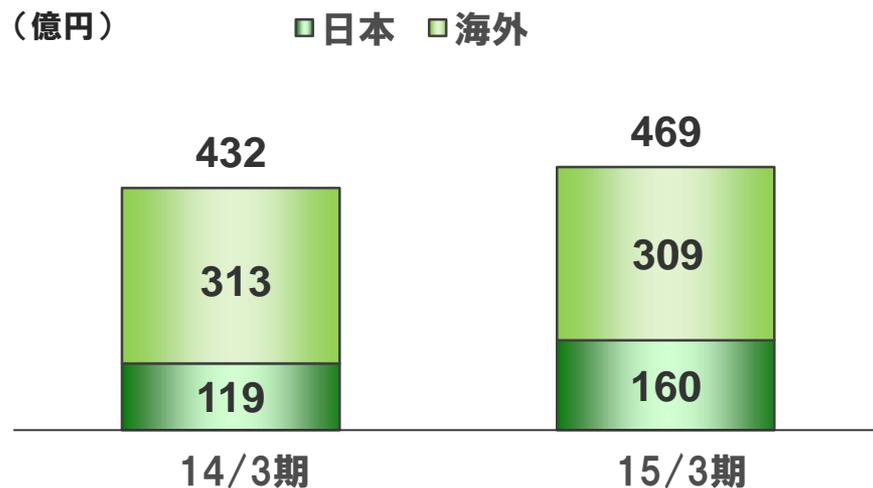
# 棚卸資産/有利子負債、設備投資/減価償却費



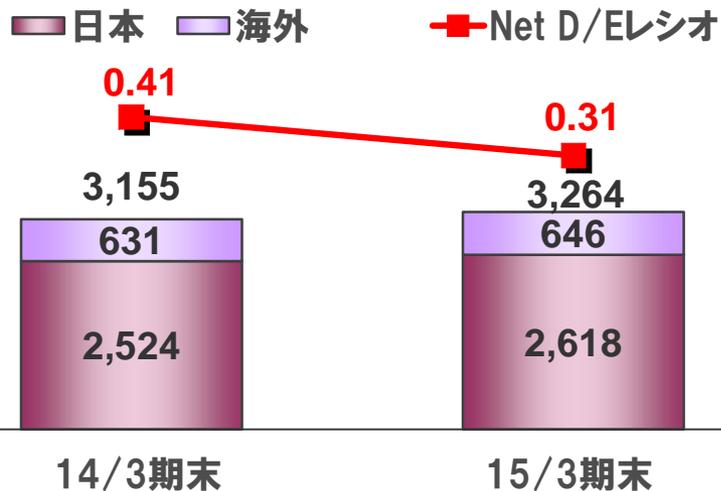
## 棚卸資産



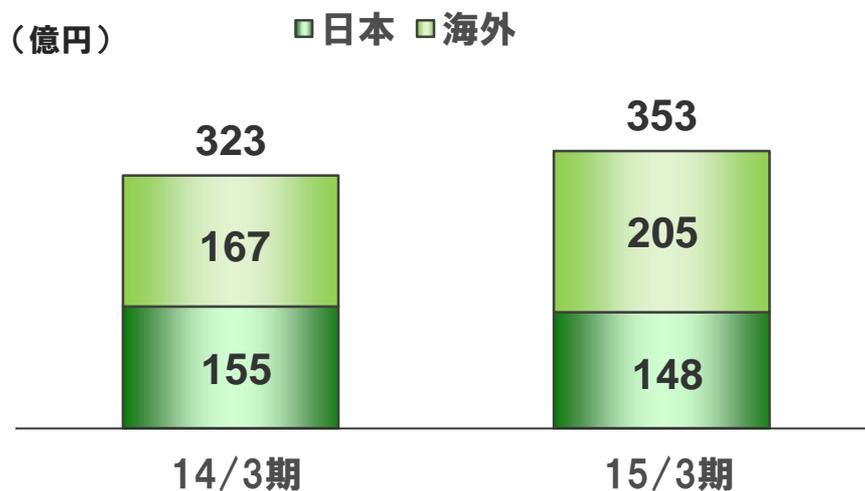
## 設備投資



## 有利子負債



## 減価償却費



## 2. 2016年3月期通期予想

## 事業環境見通し

- ✓ 日本はコスト増要因あるも、円安、原油安を追い風に回復を見込む  
米国 堅調継続、欧州 一進一退、中国 “新常态”を前提
- ✓ 産業機械事業：
  - ・好不調セクター 依然混在するものの、全体としての回復継続
- ✓ 自動車事業：
  - ・国内生産は、軽自動車税増税もあり、需要低迷継続 対前年マイナス
  - ・グローバル生産は、堅調な北米・中国、欧州・アセアンの回復を予想

## 通期業績予想

- ✓ 初の売上高1兆円超、営業利益1千億円超の予想
- ✓ 売上高 1兆200億円 (前期比+4.6%) / 営業利益 1,020億円 (同 +4.8%)  
経常利益 1,000億円 (同 +9.9%) / 当期利益 700億円 (同 +12.9%)
- ✓ 対前年 増収増益、売上高・各利益項目 過去最高更新を見込む
- ✓ 為替前提：US\$=115円、EURO=125円
- ✓ 年間配当 34円 (上期 17円、下期 17円)

# 2016年3月期 通期予想

(億円)	15/3期			16/3期			対前期 増減額	対前期 伸び率
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <予想>	後半 <予想>	通期 <予想>		
売上高	4,644	5,105	9,749	4,900	5,300	10,200	+451	+4.6%
営業利益 <営業利益率>	407 <8.8%>	566 <11.1%>	973 <10.0%>	470 <9.6%>	550 <10.4%>	1,020 <10.0%>	+47	+4.8%
経常利益	409	501	910	460	540	1,000	+90	+9.9%
税引前利益	379	501	880	460	540	1,000	+120	+13.7%
当期純利益	259	361	620	310	390	700	+80	+13.0%
(換算レート1US\$=)	(¥103.04)	(¥116.82)	(¥109.93)	(¥115)	(¥115)	(¥115)		
( " 1EURO=)	(¥138.92)	(¥138.62)	(¥138.77)	(¥125)	(¥125)	(¥125)		

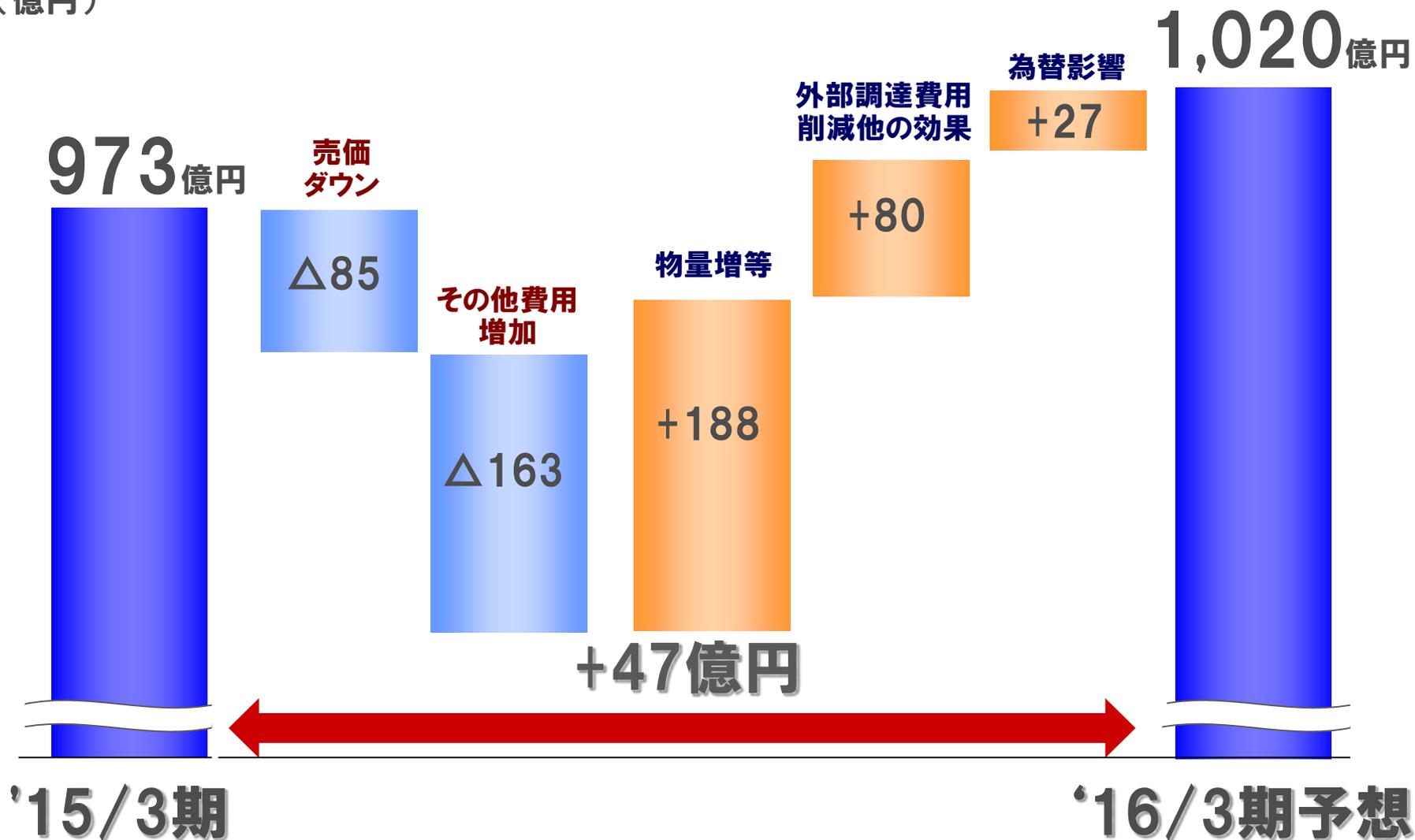
# 2016年3月期 通期予想 [事業セグメント別]

(億円)	15/3期			16/3期			対前期 増減額	対前期 伸び率
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <予想>	後半 <予想>	通期 <予想>		
売上高	4,644	5,105	9,749	4,900	5,300	10,200	+451	+4.6%
産業機械事業	1,325	1,438	2,764	1,425	1,495	2,920	+156	+5.6%
産業機械軸受	1,117	1,207	2,324	1,195	1,255	2,450	+126	+5.4%
精機製品	209	231	440	230	240	470	+30	+6.8%
自動車事業	3,118	3,452	6,570	3,350	3,660	7,010	+440	+6.7%
自動車軸受	1,463	1,601	3,064	1,530	1,655	3,185	+121	+3.9%
自動車部品	1,655	1,851	3,506	1,820	2,005	3,825	+319	+9.1%
その他	348	381	729	270	270	540	-189	-25.9%
消去	-147	-167	-314	-145	-125	-270	+44	-
営業利益	407 <8.8%>	566 <11.1%>	973 <10.0%>	470 <9.6%>	550 <10.4%>	1,020 <10.0%>	+47	+4.8%
産業機械事業	145 <10.9%>	199 <13.8%>	344 <12.4%>	180 <12.6%>	200 <13.4%>	380 <13.0%>	+36	+10.5%
自動車事業	282 <9.1%>	375 <10.9%>	657 <10.0%>	320 <9.6%>	380 <10.4%>	700 <10.0%>	+43	+6.5%
その他	22 <6.2%>	36 <9.5%>	58 <7.9%>	20 <7.4%>	15 <5.6%>	35 <6.5%>	-23	-39.7%
全社費用	-41	-44	-85	-50	-45	-95	-10	-

※「その他」に含まれておりましたシステム関連製品は、事業譲渡により16/3期より除外しております。

# 営業利益 増減内訳 ('15/3期⇒'16/3期予想)

(億円)



# 2016年3月期予想 [顧客地域別売上高]

(億円)	15/3期			16/3期			対前期 増減額	対前期 伸び率
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <予想>	後半 <予想>	通期 <予想>		
売上高	4,644	5,105	9,749	4,900	5,300	10,200	+451	+4.6%
日本	1,626	1,662	3,288	1,645	1,690	3,335	+47	+1.4%
海外合計 (海外比率)	3,017 (65.0%)	3,443 (67.4%)	6,460 (66.3%)	3,255 (66.4%)	3,610 (68.1%)	6,865 (67.3%)	+405	+6.3%
米州	768	880	1,648	840	935	1,775	+127	+7.7%
欧州	633	705	1,338	610	670	1,280	-58	-4.3%
中国	965	1,137	2,102	1,095	1,230	2,325	+223	+10.6%
その他アジア	652	721	1,372	710	775	1,485	+113	+8.2%

### **3. 第4次中期経営計画の取組み状況**

# 第4次中期経営計画 骨子

## 1兆円を支える企業基盤の確立

### 事業戦略

#### 収益重視の成長

新興国での成長

顧客戦略・セクター戦略強化

生産力・技術開発力

戦略的提携

産業機械事業

自動車事業

### 経営基盤

#### 1兆円の物量を回す管理能力構築

ガバナンス充実・コンプライアンス強化

事業構造改革

グローバルマネジメントの進化

生産・販売・管理  
新システム

事業/地域  
マネジメント

安全・品質・コンプライアンス

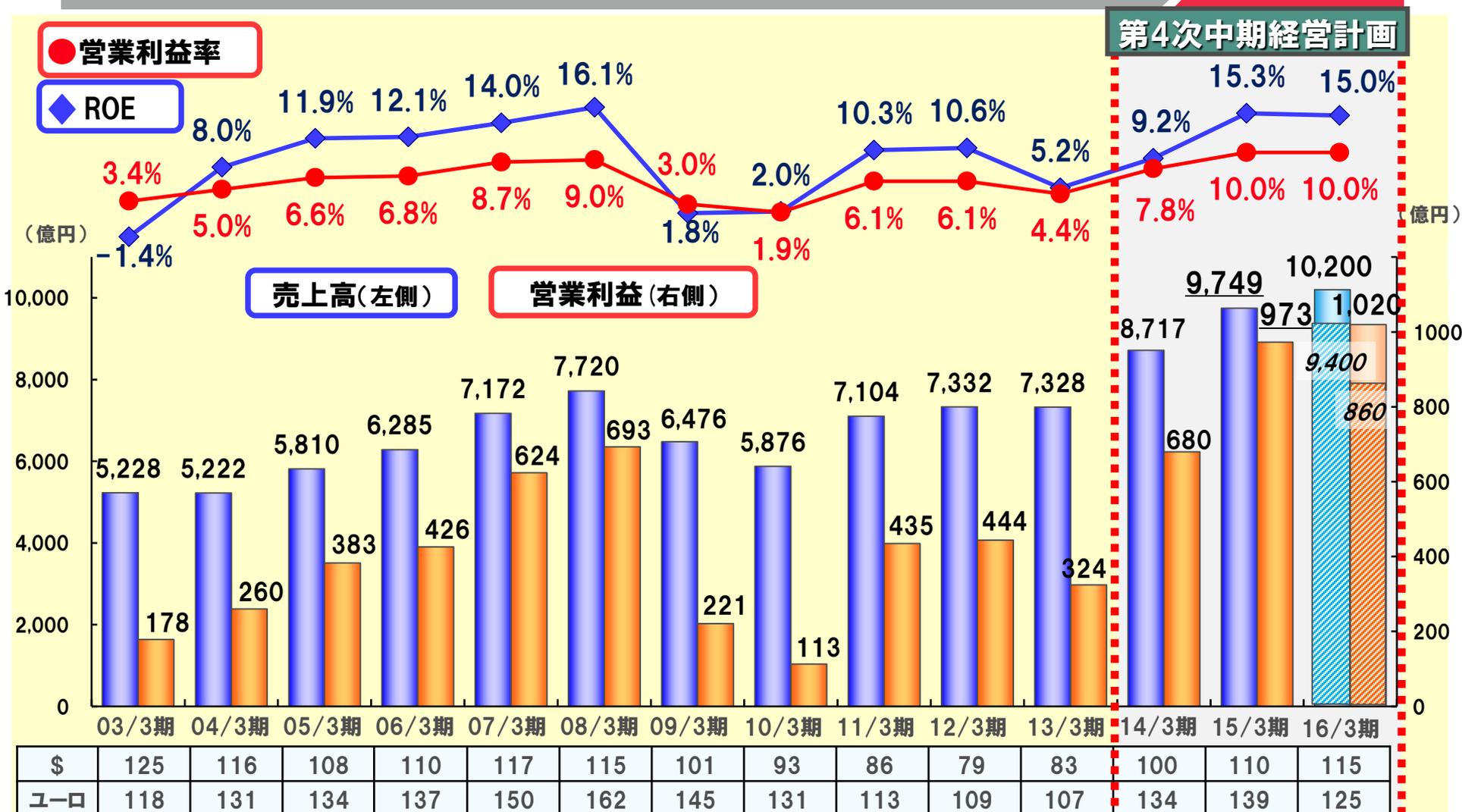
## 《第4次中期経営計画》

最終年度  
数値目標

2年目  
実績

	16年3月期	15年3月期
売上高	9,400億円	9,749億円
営業利益	860億円	973億円
経常利益	800億円	910億円
当期純利益	520億円	620億円
営業利益率	9.1%	10.0%
ROE	13.0%	15.3%
Net D/E レシオ	0.40倍	0.31倍
為替レート	US\$ = 90円 ユーロ = 120円	US\$ = 110円 ユーロ = 139円

# 連結業績の推移



事業の選択と集中  
闘う小集団化

成長路線へ転換  
体質強化

パラダイムチェンジへの対応  
事業基盤再構築

1兆円を支える  
企業基盤の確立

# 産業機械事業① '15年3月期 需要環境と業績見通し

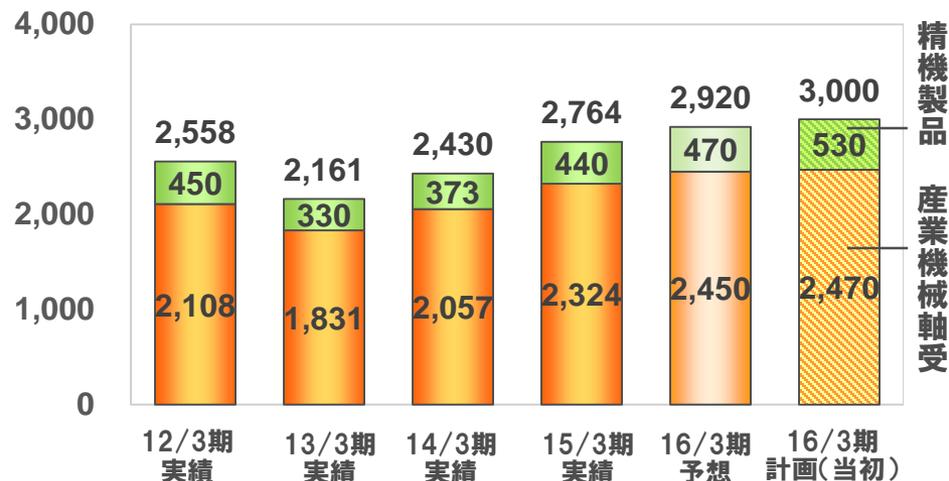


【セクター別需要動向】 [15/3期・16/3期比較]

セクター	全体	日本	海外
電機/情報	→	→	→
鉄鋼	→	→	→
流体	→	→	→
鉱山/建機	→	→	→
農機	→	→	→
風車	→	→	→
車両	→	→	→
工作機械	→	→	→
射出	→	→	→
半導体/液晶	→	→	→
AM	→	→	→

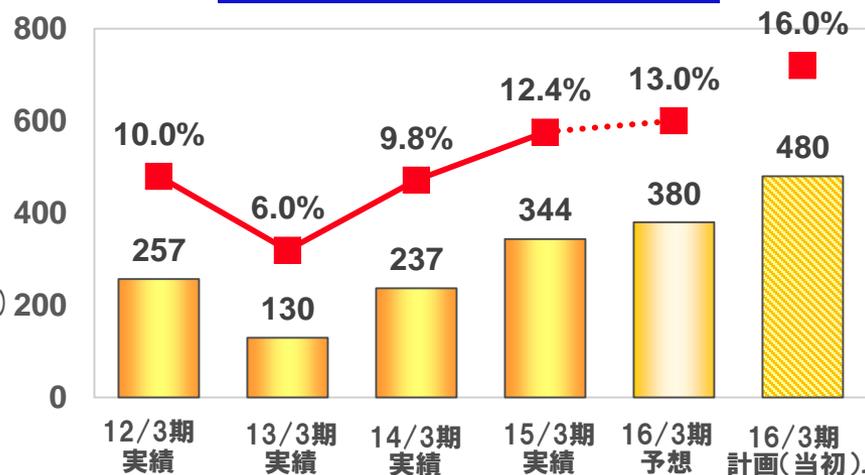
(億円)

## 売上高

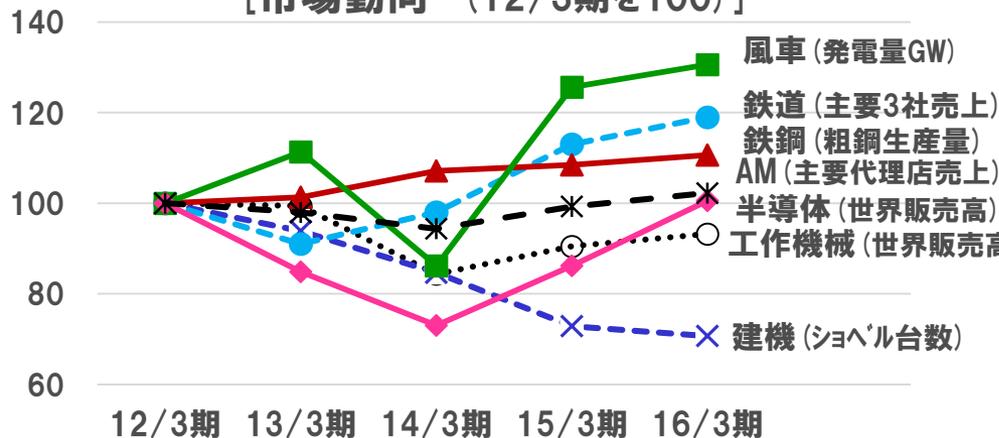


(億円)

## 営業利益/営業利益率



【市場動向 (12/3期を100)】



# 産業機械事業② 中期計画 課題取組み状況

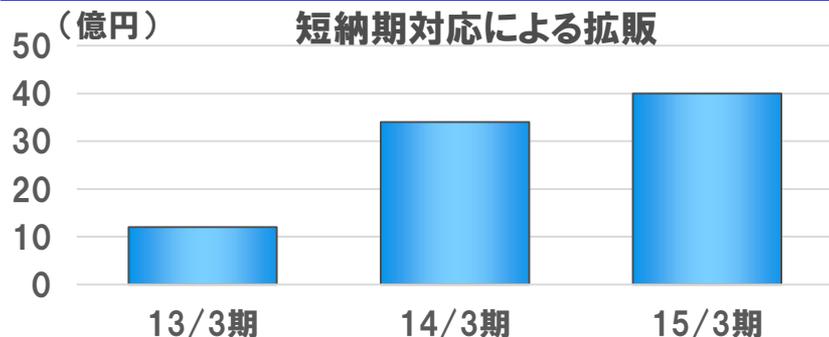
## 販売：セクター活動

セクター	使用部位	15/3受注実績
風車	増速機	25 億円
工作機械	EMS / スピンドル主軸	38
鉄道車両	高速車両	19
流体	シェールガス・マッドポンプ	3
新分野(ロボット)	医療器械・ロボットアーム	1

### <活動中 重要案件>

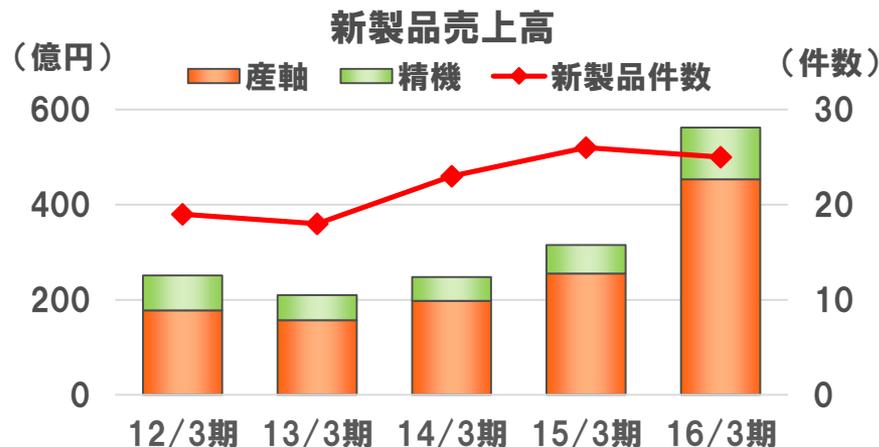
- グローバル・ターゲット・アカウント 57社
- 受注目標 160件、140億円

## 生産：リードタイム短縮



- 産機軸受: 10~60日短縮
- 精機製品: 20~60日短縮

## 技術：新製品・新技術



## メンテナンス事業

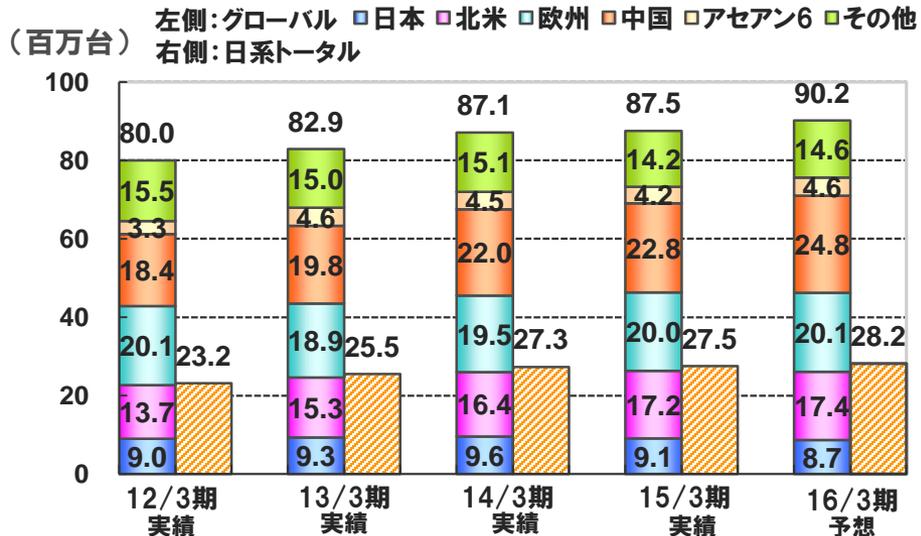


- 鉄鋼、鉄道車両、風車、一般産機
- 契約済 8件、交渉中20件
- 専任チーム発足

新製品・新技術、リードタイム短縮による販売支援、メンテナンス事業への取り組み

# 自動車事業① 生産台数予想と業績見通し

## 【自動車生産台数（グローバル全体・日系自動車メーカー）】

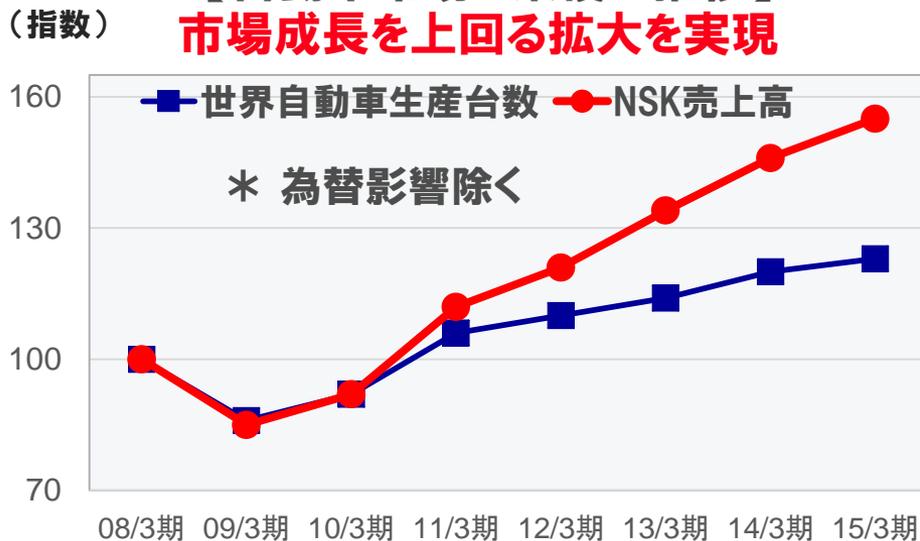


## 売上高

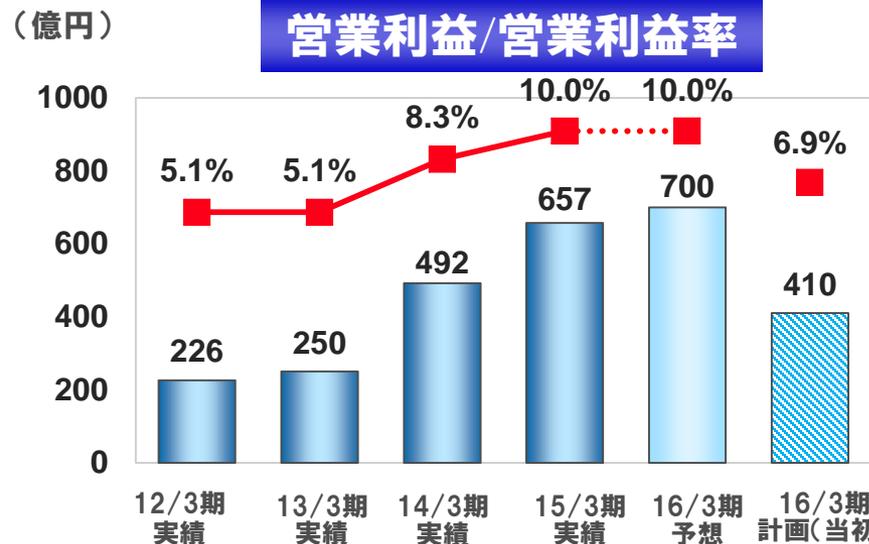


## 【自動車市場と業績の推移】

市場成長を上回る拡大を実現

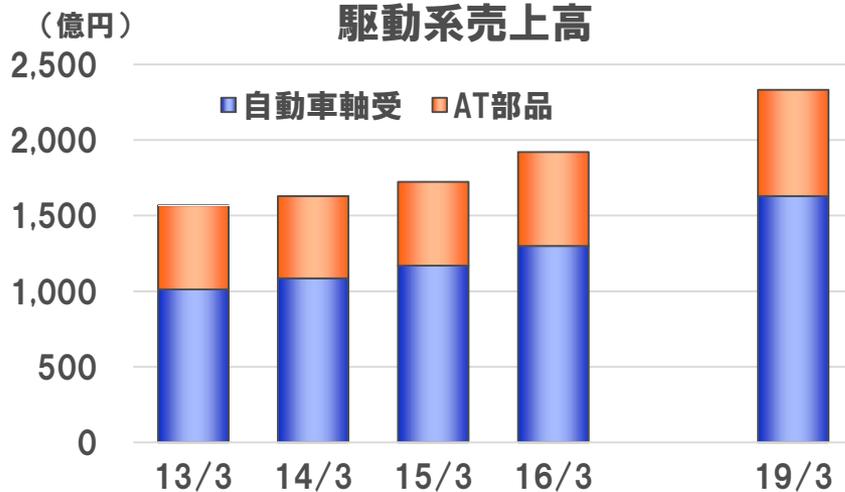


## 営業利益/営業利益率



## 自動車軸受・自動車部品

### 駆動系部位での拡大

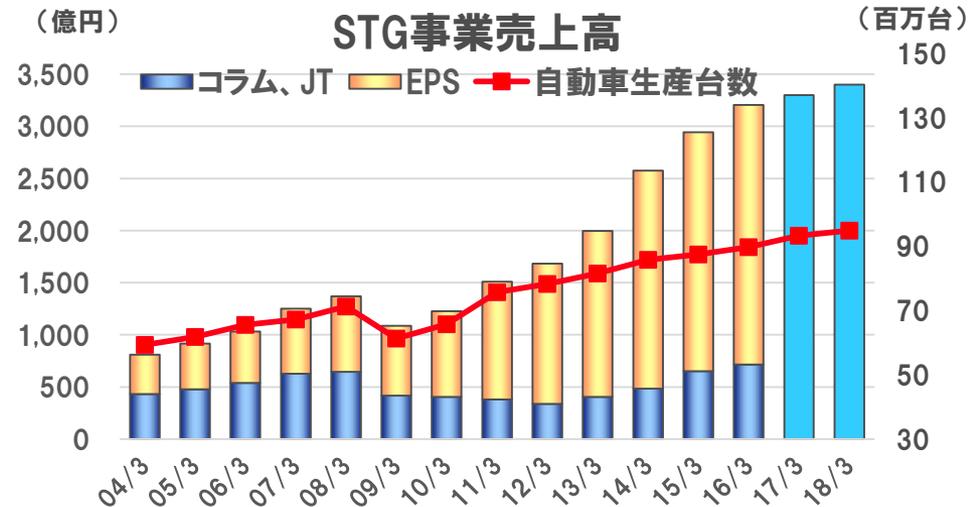


### 強みと拡大戦略

- 各変速機タイプに亘る対応力
- 軸受 & AT部品を合わせた提案力
- Step AT 多段化による拡大
- 日系コア客先での拡大
- 非日系客先へのアプローチ

## 自動車部品

### ステアリング事業の拡大継続



### 成果と将来戦略

- 受注拡大とグローバル生産展開
- 調達戦略の展開と内製化による競争力強化
- 品質管理の強化(設計・生産・調達)
- 次世代技術イノベーションへの対応
- コラムEPSとマニュアルコラム事業の持続的成長

収益重視の成長継続

## 2016年3月期の位置付けと経営方針

### ● 中期計画最終年度仕上げの年

- ✓ 数値目標前倒し達成したが、実力検証と未達領域へのこだわり
- ✓ 固定費アップを自助努力で跳ね返し、収益体質を強化
- ✓ 景況悪化リスク、需要変動への感応度・対応力深化

### ● 1兆円を支える基盤構築を継続

- ✓ 「標準化・共通化・共用化」による業務のグローバル強化策
- ✓ 安全・品質・コンプライアンス

### ● 第5次中期経営計画策定

### ● 創立100周年に向けた活動本格化

～ 『NSKビジョン2026』ご紹介 ～



## あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる明日を実現するための、  
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、  
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。

**(補足資料)**

# (補足資料) 法人所在地別 売上高・営業利益

(億円)	14年3月期 ＜実績＞	15年3月期 ＜実績＞	16年3月期 ＜予想＞
売上高	8,717	9,749	10,200
日本	5,122	5,227	5,140
米州	1,324	1,567	1,730
欧州	1,268	1,388	1,285
アジア	2,882	3,539	3,925
消去	-1,879	-1,974	-1,880

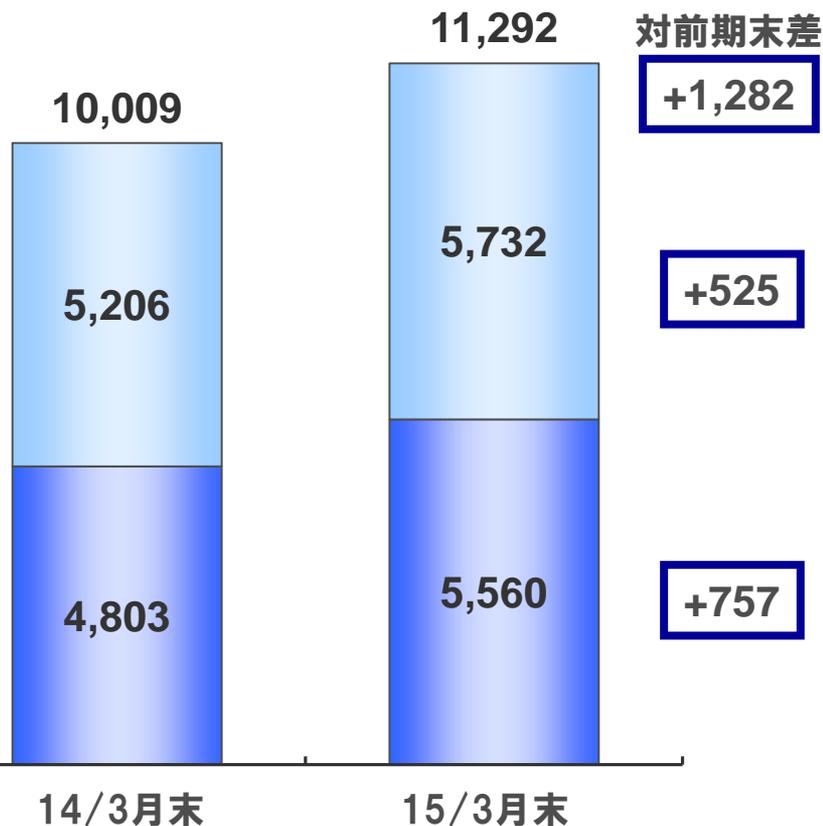
営業利益	680	<7.8%>	973	<10.0%>	1,020	<10.0%>
日本	384	<7.5%>	410	<7.8%>	370	<7.2%>
米州	60	<4.5%>	105	<6.7%>	140	<8.1%>
欧州	52	<4.1%>	113	<8.2%>	90	<7.0%>
アジア	273	<9.5%>	442	<12.5%>	515	<13.1%>
消去/全社費用	-89		-97		-95	

# (補足資料) 貸借対照表

## 資産

(億円)

■ 固定資産 □ 流動資産



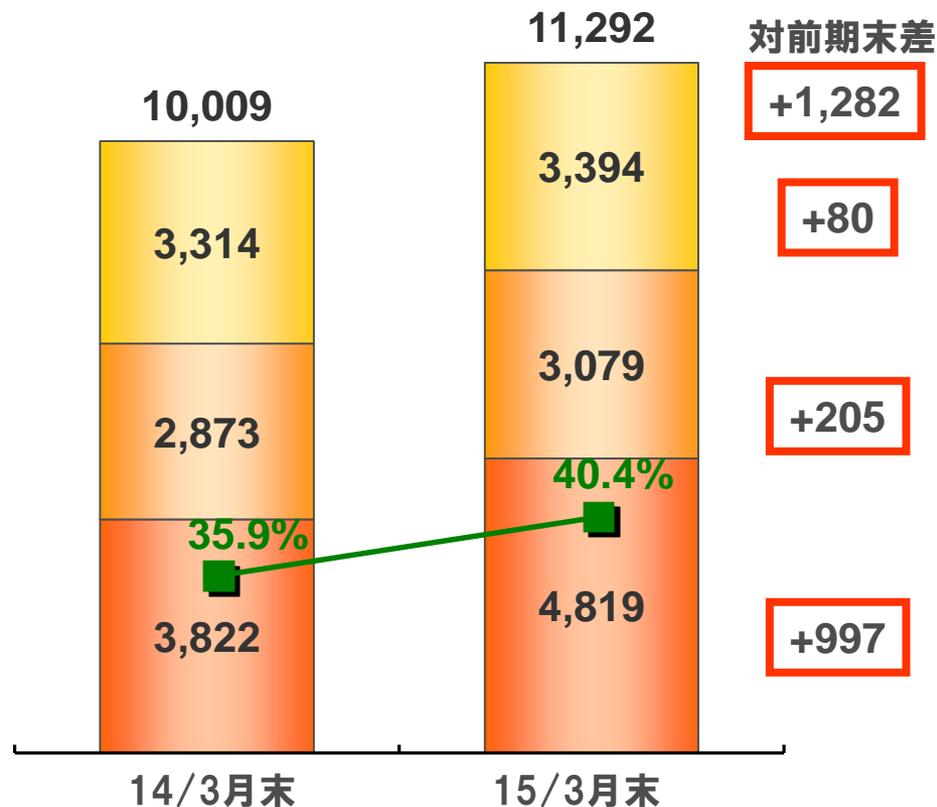
102.92	120.17
141.65	130.32

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

## 負債/純資産

(億円)

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債 ■ 自己資本比率



102.92	120.17
141.65	130.32

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

# (補足資料) 設備投資 / 減価償却費 / 研究開発費

(億円)	14/3期 <実績>	15/3期 <実績>	16/3期 <計画>
設備投資 (※)	432	469	510

※無形固定資産を除く

(億円)	14/3期 <実績>	15/3期 <実績>	16/3期 <計画>
償却費 (※)	323	353	380

※無形固定資産を除く

(億円)	14/3期 <実績>	15/3期 <実績>	16/3期 <計画>
研究開発費	99	107	110